

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
SA1	ボランティア活動A Volunteer Activities A		専門	1	選択	
<b>科目の概要</b>						
この講義はボランティアの社会的な意義、役割、期待される役割をボランティア活動の体験を通じて学びます。そのため、受講生は主体的にボランティア活動に取り組む姿勢が求められます。 必要とされる学外での活動時間数は30時間です。常に、学外(社会)でボランティア活動に取り組む自覚を持ち、主体的に取り組む中で学んだこと、気づき、期待される役割を記録し最終的に活動報告書としてまとめます。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
30時間の学外ボランティア活動に取り組みます。 事前、事後指導をきちんと受け、成果や記録を活動報告書にまとめていきます。			各学期初めのオリエンテーションや掲示などにより担当者より説明があります。			
<b>学生に発揮させる社会人 基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏 み出す 力	主体性	「指示待ち人間」にならず、自ら積極的に考え行動することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	地域活動支援と地区の活性化という目標をつねに意識しながら、実習に取り組むことができる。				
考え抜 く力	課題発見力	地区の抱える問題点を理解し、それらを解決するための課題を見出すことができる。				
	計画力					
	創造力	これまでの解決策を学習し理解するだけでなく、それを踏まえて自分なりのアイデアに基づき解決策を講じることができる。				
チーム で働く 力	発信力	外部の方々と接する際だけでなく、実習のメンバーや教員と接する際も、その場の状況、相手と自分の立場などを踏まえて、適切なかたちで発信することができる。				
	傾聴力	とくに学外に出る際は、つねにメモを取れる準備をし、相手の内容を書き記し整理しながら聴くことができる。たとえ興味のないことであっても、しっかり「きく」ことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	ルールを守り、外部の方々と本学とで作り上げる実習の秩序、および、他の受講生と教員とで作る授業の秩序を乱さないことができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
特にありません。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:「ボランティア実務1・2」、「非営利組織論」を受講して下さい。 本学部で取得できる資格との関連:ボランティア実務士(選択)						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
・学外の取り組みに迷いや悩みが生じたら、すぐに担当教員の指導を受けて下さい。ボランティア活動は失敗と成功を繰り返しながら学び取る姿勢を大事にして下さい。 ・何事にも挑戦する意欲を持って下さい。			学外(社会)で活動することの自覚と責任を持って下さい。			